

# 「環境家計簿」モニター制度実施報告

モニター制度とは

環境に配慮した省エネ・エコライフの実践による地球温暖化防止の取組みを進めるために、市では「環境配慮指針」・「我が家の環境家計簿」を平成18年に作成し、皆さんに配布してきました。

その推進活動の一環として、昨年「環境家計簿」モニター制度を実施しました。4/15市報での募集により参加していただいた21名のモニターの皆様には、昨年6月から11月までの6ヶ月間にわたり、省エネに努めながら毎月のエネルギー使用量（電気・ガス・水道）と、それをCO<sub>2</sub>量に換算した排出量を、我が家の環境家計簿に記入して前年度データとともに報告していただきました。

6・7月分の中間報告では、前年度データと比較できた17世帯のうち10世帯がCO<sub>2</sub>の排出量を減らすことができていました。6ヶ月間の成果はどうだったのでしょうか。

我が家のCO<sub>2</sub>排出量の実態を知ることが省エネの第一歩

前年と比べてCO<sub>2</sub>の排出量削減ができたのは17世帯中10世帯でした。最も削減できたSOさん世帯（70代夫婦）ではなんと昨年比マイナス27.4%でした。全体に今までかなりエネルギーを使用していた世帯では今回の取組みにより大きく省エネができた一方で、以前より省エネを実践してきている世帯では、昨夏の記録的酷暑のせいか削減に苦労したようです。

また、一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量に換算して比較すると、排出量には世帯間で約165～1000kg-CO<sub>2</sub>とかなり大きい差がありました。これは参加世帯の生活スタイル

の違いや、これまでの省エネに対する意識の差が反映されていることが要因かと思われれます。とはいえ「環境家計簿」をつけることにより、自分がどのくらいCO<sub>2</sub>を排出しているのかを実感することができ、省エネへの取組みの必要性を意識するきっかけとすることができたという参加者の感想をいただきました。

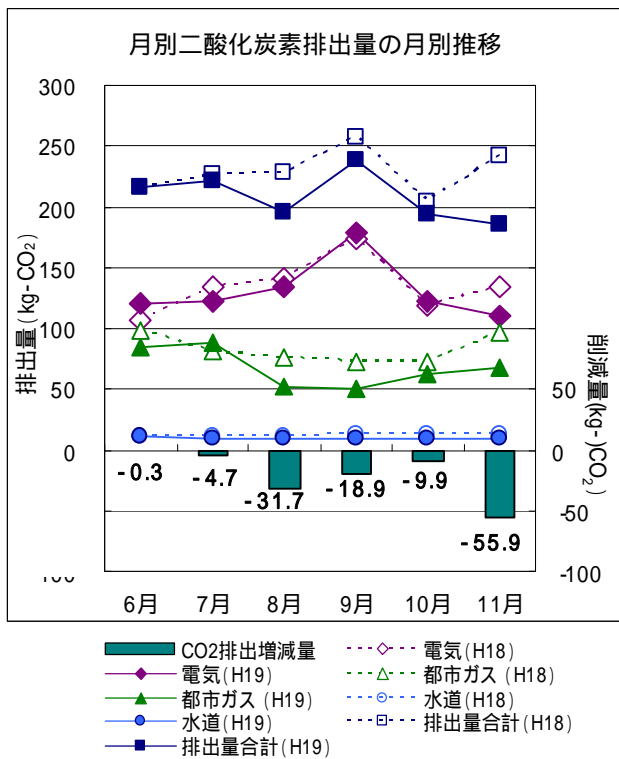
ことは、今回のモニター制度の大きな成果となりました。モニターの皆さんの感想とCO<sub>2</sub>排出量の削減を達成された世帯の一例を紹介します。

次年度もこの「環境家計簿」モニター制度を継続しますのでぜひ皆さんご参加ください。

地球温暖化防止のために、一人ひとりの省エネの工夫と努力により、CO<sub>2</sub>排出量の削減をしましょう。

## 減らしました、CO<sub>2</sub>！（6-11月）

（夫婦と子供1人のEGさんの場合）  
 総CO<sub>2</sub>排出量 1,252 kg-CO<sub>2</sub>  
 前年との比較 -121.4 kg-CO<sub>2</sub>  
 前年比 -8.8 %



## モニターに参加して

家族の協力なしではCO<sub>2</sub>を減らすことは不可能です。どうやって子供達に働きかけるかが今後のカギです。  
**（チャッピーさん、キュウキュウさん）**

使用料金にあまり変化がなければいいとして、我が家のCO<sub>2</sub>排出量など考えていなかったのも、各家庭からこんなにCO<sub>2</sub>が排出されているとは少々びっくりしています。  
**（環さん）**

地球温暖化について、家族で話すことが多くなりました。CO<sub>2</sub>排出をなるべく少なくなるように努力したいと思います。  
**（EGさん）**

モニターに参加することで、これまで以上に「エコ」を意識しました。これからも努力を続けていきたいと思っています。  
**（みさとさん・STさん）**

今まではあまり考えずに光熱水を使用していましたが、モニターに参加してからは、CO<sub>2</sub>を減らさなければならないことの重大性をいやというほど考えさせられたことは、私にとって大きな成果でした。異常気象の恐ろしさを一人でも多くの人に知ってもらい、各自微力でもCO<sub>2</sub>削減を実行しなければ地球は大変なことになると思いました。

**（ウサギのスーちゃん）**

省エネは一機関の取組みで終わらずに継続することがキーワードです。そして継続するためには、自分の省エネに確信をもたねばなりません。つまり学習です。継続して学習し続け、人の真似でなく自分の省エネを見つけて気長に続けていくことが大切です。  
**（青りんごさん）**

豊かな生活を求める限り省エネは益々不可能になる。個人や企業の努力と強力な行政指導が必要と思われます。  
**（国分寺山人さん）**